

長寄聞見録
二

洋学文庫
文庫8
C 274
2





長崎聞見録卷之二

目錄

唐帝都之事

唐船

唐人風俗

唐船の便之事

唐人技藝事

陸明齋洋學事

唐人の物事

唐人空想

寧波

船揚り之事
附舟善作事

船綱の製り事

李仁山医案

唐の婦人

唐人の刀の事

唐古葉の事



長崎聞見録

卷之二 目錄



長崎開港録



長崎開港録
卷之三

二〇

のば修すぐら金鼓とさし。喇叭と吹く。大物のよひらぐとあぐいしりて
きつとくしり。唐人は揚子江に舟を引かせ。大船を引つて置く
焼まつるなり。はるばる唐人の舟を引つて人々を退く。大船を引つて
といふ事あり。思ひおぼしき。思ひおぼしき。思ひおぼしき。思ひおぼしき。
漢の舟の焼く事修すぐら金鼓とさし。喇叭と吹く。大物のよひらぐとあぐいしりて

唐人生物を殺す事

古人曰紫葍の室。入く久しき事。もたぬ事。ゆうそ人の言
くふ事。性となる事。唐人は舟を引つて人々を退く。大船を引つて
よひらぐ事。人の身より血のいけり。眉とあぐいしりて。或
る人おぼしき。唐人の死す事。小舟を引つて人々を退く。大船を引つて

あつ小鷄。一切の生物を殺す事。野菜紙切る事。是れ國の人傷
ましく。唐人の舟を引つて人々を退く。大船を引つて置く事。
國の人おぼしき。唐人の舟を引つて人々を退く。大船を引つて置く事。
と。舟は鷄の雛を引つて人々を退く。大船を引つて置く事。
生物のところ。及び舟を引つて人々を退く。大船を引つて置く事。
そらたり。舟を引つて人々を退く。大船を引つて置く事。
うし。舟を引つて人々を退く。大船を引つて置く事。

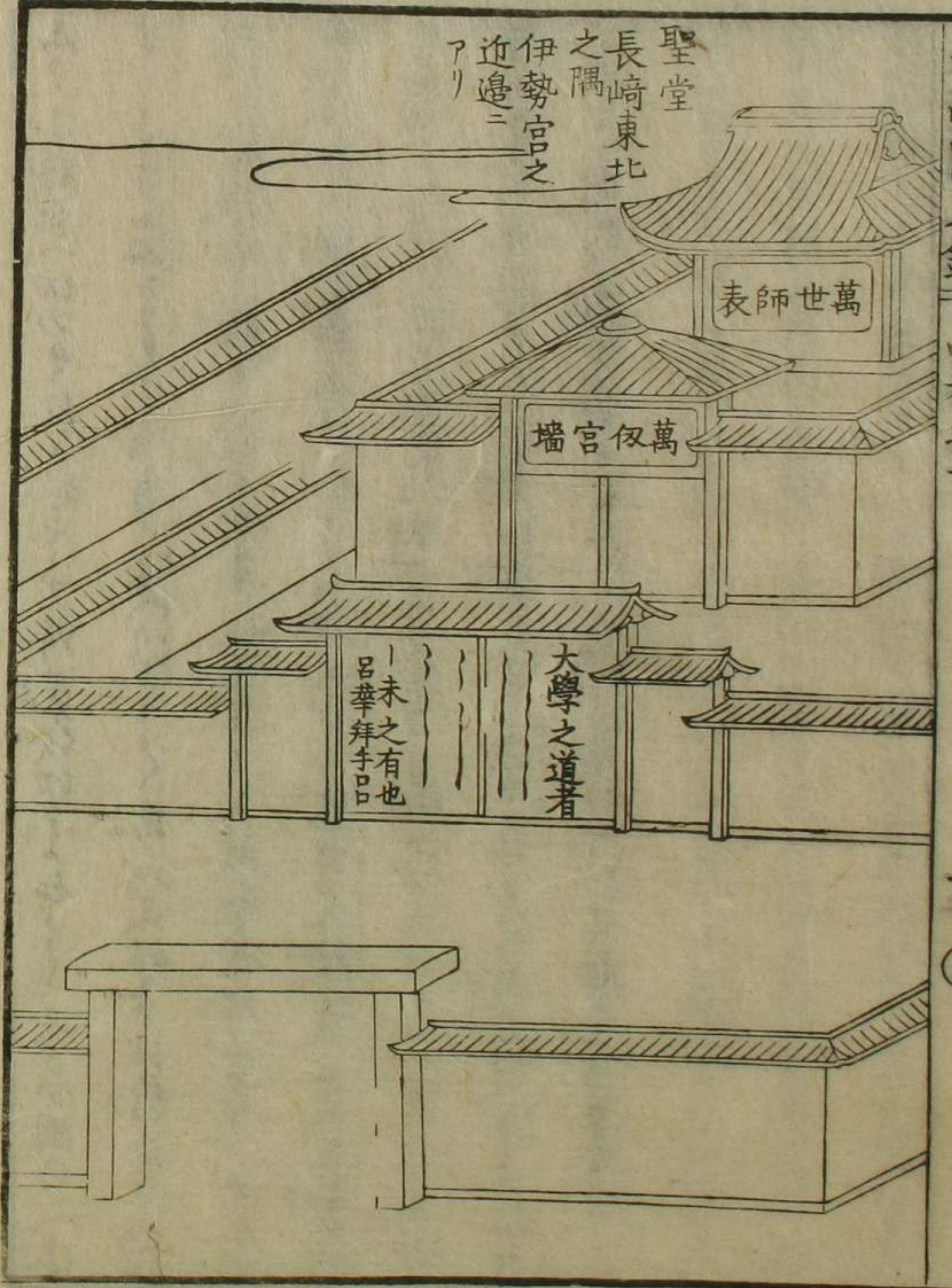
明倫堂
沈涵

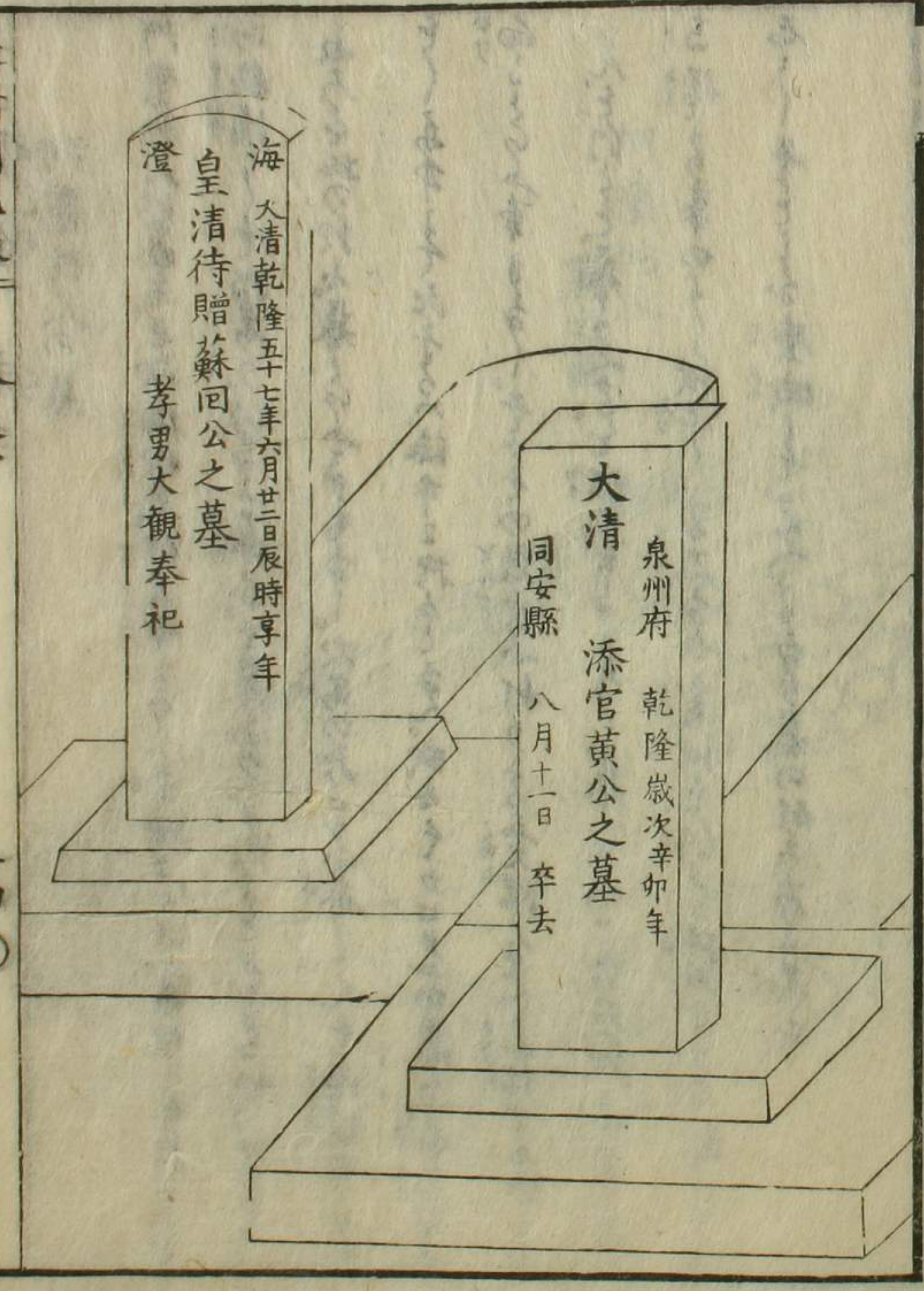
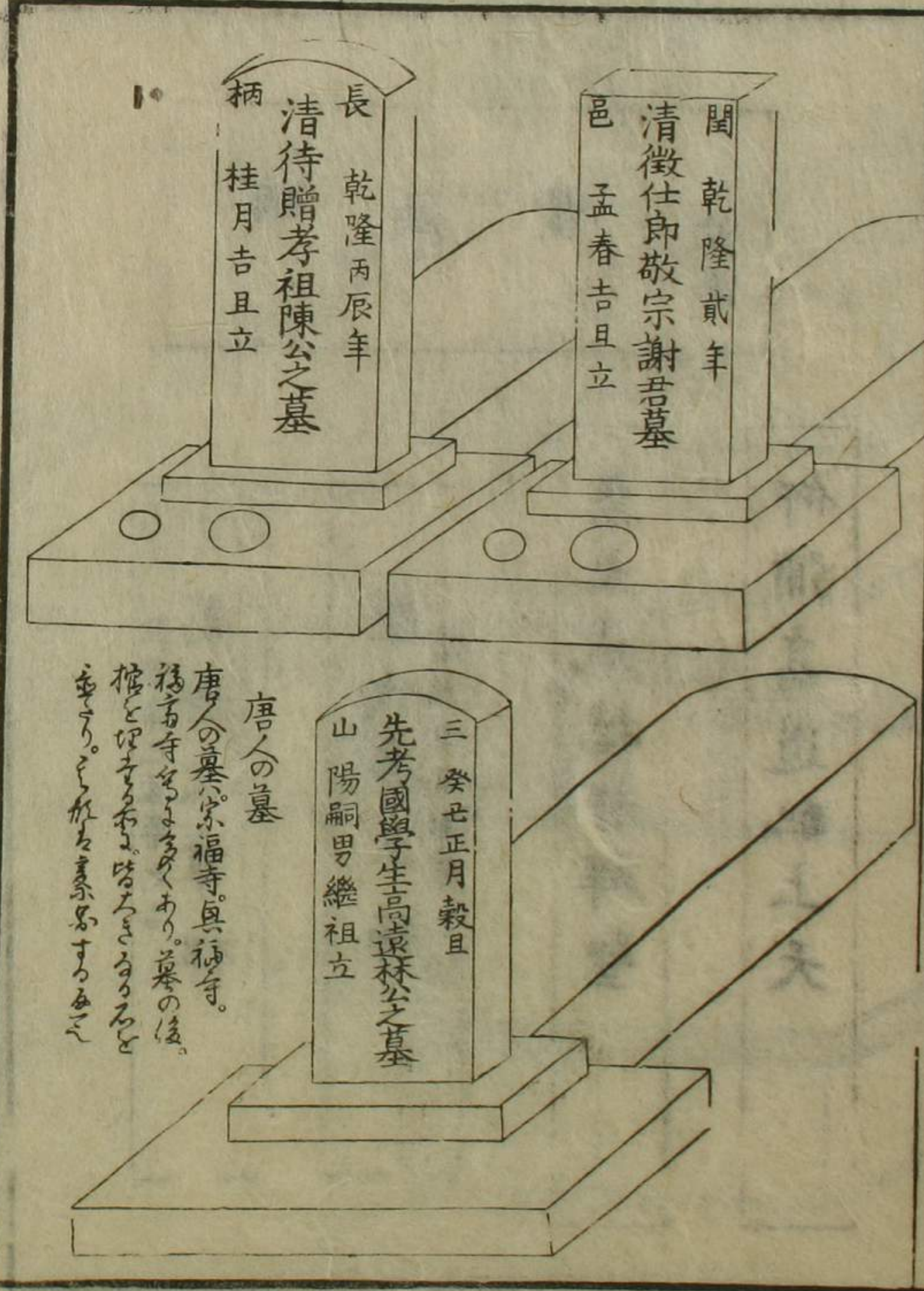
仰彌高道配上天

集大成德超群聖

歷代帝王師
雲間孝先敬書

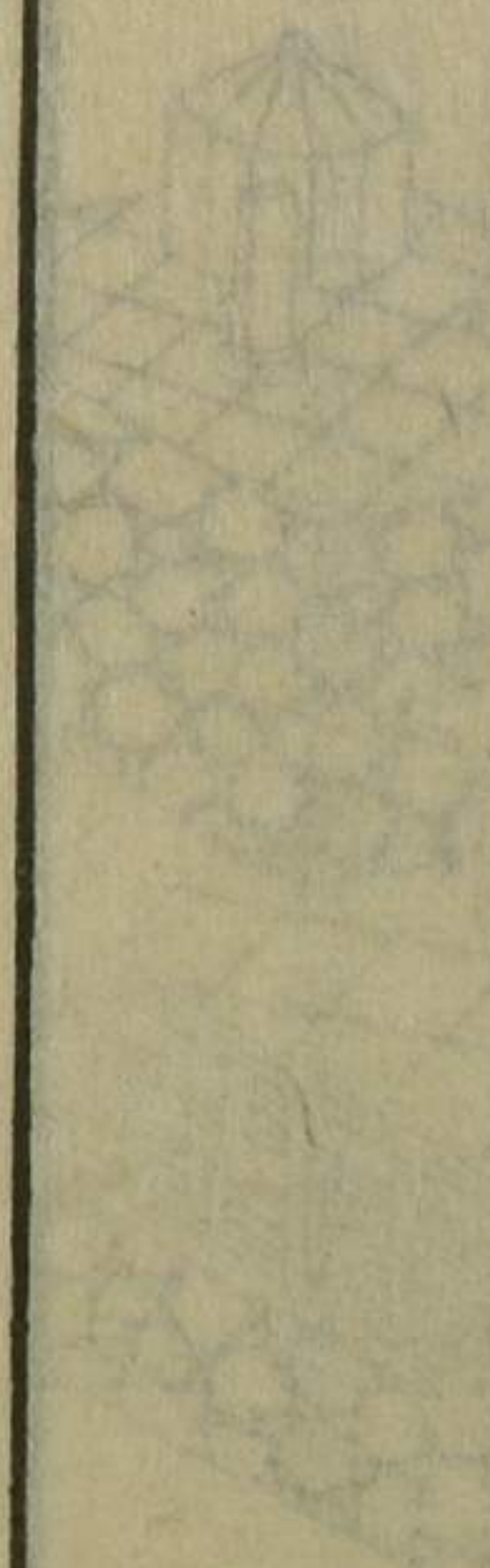
萬世文章祖
乾隆辛巳孟春之吉



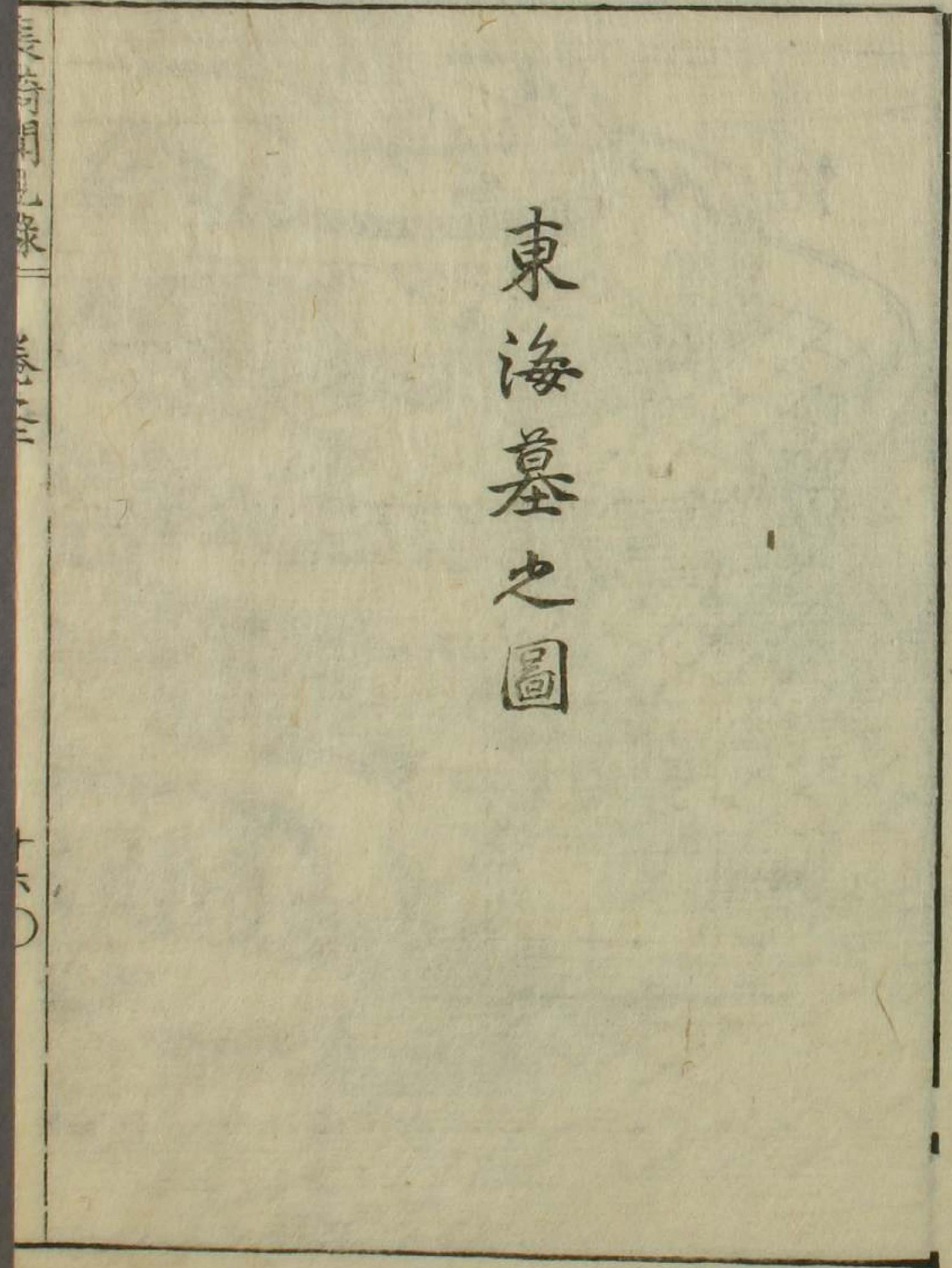


東海の墓

東海此墓也。昔傳云あり。昔時東海某の唐人の子孫にて。其傳の伝官に
 此人墓塚好むる癖あり。生涯墓れ修理致志をなすと云く。其傳の伝官に
 東海の墓を傳へて。名を記墓好むるなり。今もその傳あり。其傳の
 その墓塚名を。す金く石塚取。種くよ石塚に。其傳の伝官に。昔の
 今傳云く。其傳の伝官に。今も其傳の伝官に。其傳の伝官に。其傳の伝官に
 あり。其傳の伝官に。其傳の伝官に。其傳の伝官に。其傳の伝官に。其傳の伝官に



東海墓之圖



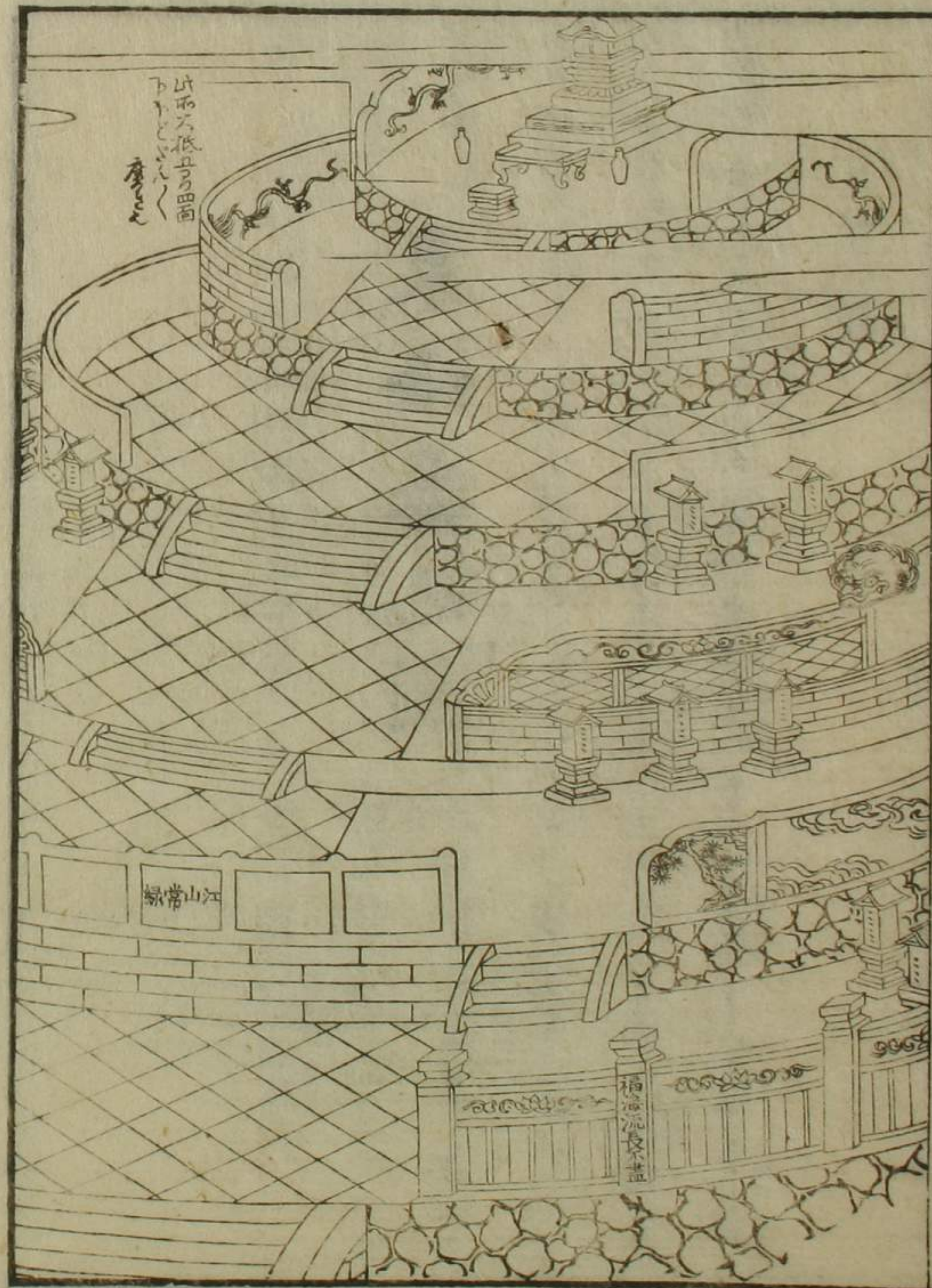
東海墓之圖
 十一



長崎山見録

巻五

七



長崎山見録

巻五

七

長山園見錄卷三

